

Storm Wines

Storm Wines (Walker Bay)

ストーム・ワインズ(ウォーカー・ベイ)



詳細・歴史

2012年、ピノ・ノワールの名手であるハネス・ストーム氏によってウォーカー・ベイに設立されたワイナリーです。彼は南アフリカの首都プレトリア出身で、ワインコレクターだった父の影響でステレンボッシュ大学で栽培と醸造を学びますが、学生の頃から、かの「ハミルトン・ラッセル」で研鑽を積み、後に醸造長に就任します。大学時代に虜になったピノ・ノワールとシャルドネを扱う彼の技術は卓越しており、「ハミルトン・ラッセル」での活躍の傍ら、他の小規模生産者の栽培コンサルタントを務めるなど若くして敏腕ぶりを発揮してきました。また、元来数字に強く非常に論理的で、データと科学的根拠に基づく一面も持ち合わせています。

本拠を置いているウォーカー・ベイのHemel-en-Aarde／ヘメル・アン・アード地区はケープタウンから東へ120kmの海の近くに位置し、南極から流れるベンゲラ海流と大西洋からの冷たい南東の風の影響を受けており、灼熱の南アフリカにおいて並外れた冷涼な海洋性気候で、正にピノ・ノワールとシャルドネの聖地となっています。またウエスタン・ケープ州の他のワイン産地よりも年間の降水量が多いため、干ばつの影響を受けにくい利点もあります。

ハネス・ストーム氏は非常に勤勉家で温かく愛に溢れた人柄であることから、彼の周りのワイン造りに携わる人々や友人たちからだけでなく、地域の人々や流通に関わる人たちからもとても愛されています。恵まれたウォーカー・ベイの大地と、ハネスの手によって育まれたブドウから生まれるエレガントで繊細なキュヴェを、どうぞお楽しみください！

産地 Hemel-en-Aarde／ヘメル・アン・アード「天と地」と3つの小地区

ケープタウンから東へ120kmに位置し、シロナガスクジラが見れることでも大変人気のリゾート地「ヘルマナス」にあるワイン産地「ウォーカー・ベイ地域」は海洋性気候で、中でも、大西洋と南極から流れてくるベンゲラ海流の冷たい風の影響を受ける、ひと際冷涼な銘醸地が「Hemel-en-Aarde」です。およそ450ヘクタールのブドウ畑が広がっており、2009年に3つの小地区が設けられました。現在この新たな3地区すべてに自社畑を所有してワイン造りを行っているのはこの「ストーム・ワインズ」だけです。「Hemel-en-Aarde」はアフリカーンス語で「天と地」を意味します。

- ①Hemel-en-Aarde Valley／ヘメル・アン・アード・ヴァレー：【標高】125m 最も海寄りで標高は低く温暖 【土壌】粘土がちな頁岩
- ②Upper Hemel-en-Aarde Valley／アッパー・ヘメル・アン・アード・ヴァレー：【標高】225m 3地区の中間 【土壌】風化した花崗岩
- ③Hemel-en-Aarde Ridge／ヘメル・アン・アード・リッジ：【標高】330m 最も標高が高く冷涼 【土壌】頁岩

※①に位置する畑「フレダ」と③に位置する畑「リッジ」は同じ土壌で標高違い。②に位置する「イグニス」のみ異なる土壌で花崗岩です。

醸造

3つの異なる地区(ワード)の個性を活かすため、人的介入は最小限にとどめ、徹底した少量生産を貫くことにより、最大限にその魅力を発揮しています。醸造はゆっくりと行われ、長期熟成に耐えるワイン造りを行っています。

【全房使用率】テロワールの特徴を生かすため15～20%以内に抑える

【熟成樽】キュヴェによって細かく樽を使い分けています。すべてフレンチオーク小樽で(フランソワ・フレール製、ルイ・ラトゥール製、シャサン製、メイリュエ製)、古樽は『ハミルトン・ラッセル』のお下がりも使用しています。

【熟成期間】約11～18カ月間



The two 2021 Storm Chardonnays

冬場の寒さと平均を400mm上回る降雨量に恵まれ、ブドウ樹の葉は鮮緑、幹は漆黒、果汁は狂氣的なほどのマスタード色に輝き、ブドウ畑がまるでハイビジョン放映を始めたかのような色彩に包まれ、小さく凝縮した房の実る豊穡のヴァンテージとなりました。

商品コード	ワイン名	ヴァンテージ	税別参考上代
72810121	Vrede Chardonnay フレダ・シャルドネ	2021	¥8,300



【キュヴェ名】「Vrede/フレダ」とはアフリカンス語で「平和」
 【2021年】2021年は気候には恵まれ、高い品質のブドウが得られましたが、収量は大変少なくなりました。
 【産地】Hemel-en-Aarde-Valley/ヘメル・アン・アード・ヴァレー
 【畑立地】渓谷に位置した北東向きの急斜面。標高は高くなく、温暖な気候。シャルドネとピノ・ノワールの畑は隣接。
 【土壌】4億年前のデボン紀のボックフェルド・シェール：石が多く粘土が豊富な頁岩 【植樹】2006年
 【発酵】バスケット・プレスにて搾汁後、フレンチオーク小樽(228L)にて野生酵母による自然発酵
 【熟成】《新樽》30%、《1年樽》20%、《2年樽》40%、《3年樽》10%にてシュールリーにて8カ月間
 【樽製造社】ルイ・ラトゥール製 50%、フランソワ・フレール製 40%、シャサン製 10% 【瓶詰】2021年11月
 【テイastingノート】ボックフェルド・シェール土壌由来のライムやレモンなどの柑橘類やネクタリンなどの豊かでふよやかなアロマが魅力的で、ジンジャーやスパイスのニュアンスも感じられます。澁澁とした酸味のある果実味と、美しく輪郭郭のはっきりしたミネラル感がとても印象的で、僅かにウッディーでクリスピーさを伴う長く滑らかな余韻へと続く、とてもエレガントなシャルドネです。

【生産数】1,500本
 【アルコール度数】13.0%



0

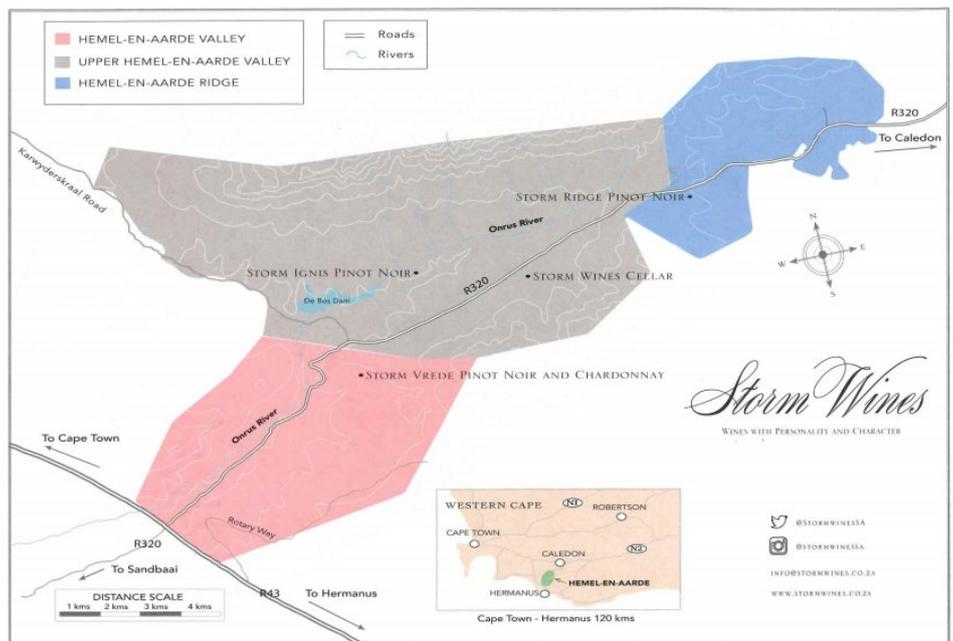
72811121	Ridge Chardonnay リッジ・シャルドネ	2021	¥8,300
----------	-------------------------------	------	--------



【キュヴェ】3ヴァンテージ目を迎えたクラシック・スタイル・キュヴェ。「フレダ」と同じ土壌(頁岩)ですが標高が高く、より色が濃く、酸やスパイシーさも増します。
 【産地】Hemel-en-Aarde Ridge/ヘメル・アン・アード・リッジ
 【畑立地】3つの冷涼な条件：渓谷に位置した南東向きの斜面、標高330m、海からの冷たい風の影響が揃う3エリアの中で最も涼しい畑。「フレダ」よりもブドウの生育が1カ月ほど遅く、じっくりと味わいを深めていきます。シャルドネとピノ・ノワールの畑は約100m離れていますが条件はほぼ同じです。
 【土壌】4億年前のデボン紀のボックフェルド・シェール：大き目の石が多く粘土が豊富な頁岩
 【植樹】2008年 【密植率】7,500本/ha 【瓶詰】2022年2月
 【発酵】バスケット・プレスにて搾汁後、フレンチオーク小樽(228L)にて野生酵母による自然発酵
 【熟成】《新樽》30%、《1年樽》14%、《2年樽》29%、《3年樽》14%、《4年樽》13%にて11カ月間
 【樽製造社】ルイ・ラトゥール製 57%、メリュージュ製 15%、フランソワ・フレール製 14%、シャサン製 14%
 【テイastingノート】粘性があり、レモンやライムなどの数種類の柑橘類、梨やネクタリンなどの凝縮した果実味や、ジンジャーや軽やかなスパイス、ほのかなウッッドのニュアンスが、美しいメドレーの様に次々の現れては混ざり合います。ブドウ本来の持つナチュラルな酸と、ピリリとしたフレッシュなミネラル、洗練されたオーク樽由来のハーモニーが素晴らしく、クリスピーな余韻が長く続きます。正に爽やかでいて上品、そして彫りの深い骨格を持ったスタイルに仕上がっており、長期熟成を期待できるポテンシャルがあります。

【生産数】5,760本
 【アルコール度数】13.0%

0



The three 2020 Storm Pinot Noirs

干ばつに見舞われ低収量が続いた昨年2019年までの数年間よりもずいぶんと雨が多く、Vredaの年間降雨量は900mm近くにもなりました。気温も暑すぎず「祝祭のヴァンテージ」と言われた2015年に並ぶほどの恵まれたヴァンテージになりました。

商品コード	ワイン名	ヴァンテージ	税別参考上代
72830120	Vrede Pinot Noir フレダ・ピノ・ノワール	2020	¥8,300
	<p>【キュヴェ名】「Vrede／フレダ」とはアフリカーンス語で「平和」 【産地】Hemel-en-Aarde-Valley／ヘメル・アン・アード・ヴァレー 【畑立地】渓谷に位置した北東向きの急斜面。標高は高くなく、温暖な気候。シャルドネとピノ・ノワールの畑は隣接。 【土壌】4億年前のデボン紀のボックフェルド・シェール：石が多く粘土が豊富な頁岩 【植樹】2008年 【密植率】4,500本/ha 【発酵】フレンチオーク小樽(228L)にて野生酵母による自然発酵 【熟成】《新樽》24%、《1年樽》23%、《2年樽》32%、《3年樽》21%にて11カ月間 【瓶詰】2021年2月 【樽製造社】メルキュレイ製 44%、フランソワ・フレール製 36%、シャサン製 20% 【テイステイングノート】2019年よりもポリフェノールがあり、バラの花びらやスマイル、野イチゴなど、豊満でスパイシーなアロマが魅力的です。酸は繊細で、ピュアで深みのある果実味とシルキーで香り高いタンニン、そしてほのかな野性味が鼻腔を抜けます。底にはしっかりとグリップがあり、しなやかな骨格と純粋さを兼ね備え、驚くほど長い余韻を湛えた長期熟成の期待が持てる、非常に豊かでエレガントなピノ・ノワールと言えます。 【評価】Tim Atkin MW: 96pt "Wine of the Year for Pinot Noir"、Platter's Guide: 5 stars 【生産数】6,120本 【アルコール度数】13.5%</p>		
72831120	Ignis Pinot Noir イグニス・ピノ・ノワール	2020	¥8,300
	<p>【キュヴェ】「Ignis／イグニス」とはラテン語で「火」を意味しますが、この畑の土壌が火山成岩の一種の花崗岩で、見た目がゴロゴロと赤みを帯びた茶色であることから「火から石へ、そして樹へ」という思いを込めて名付けられました。3つの畑の中で唯一の花崗岩土壌で、最も繊細で緊張感があり、ブルゴーニュ愛好家垂涎の銘キュヴェです。 【産地】Upper Hemel-en-Aarde-Valley／アッパー・ヘメル・アン・アード・ヴァレー 【標高】3地区の中間に位置し、約225m 【畑立地】北向き 【土壌】かつて河川だったため円みを帯びた小石と砂利の混ざる風化した花崗岩で下層は粘土質：3畑で唯一の土壌 【植樹】2008年 【密植率】約3,500本/ha 【収穫】「フレダ」より10日ほど遅い 【発酵】フレンチオーク小樽(228L)にて野生酵母による自然発酵 【熟成】《新樽》25%、《1年樽》25%、《2年樽》50%にて11カ月間ののち、14か月以上の瓶熟成を経てリリース 【樽製造社】フランソワ・フレール製 50%、メルキュレイ製 30%、シャサン製 20% 【瓶詰】2021年2月 【テイステイングノート】ラズベリーやスイカ、野バラやカシスの葉など、自然界をすぐそこに感じられるような複雑なアロマが感じられ、花崗岩由来のグリップ感と、凝縮した果実味、オーク由来のスパイシーさ、シルキーなタンニンが絶妙な調和を見せています。豊かなフィネスがあり、爽やかで甘みを伴う余韻が長く続く、凛とした緊張感のあるエレガントなピノ・ノワールです。 【評価】Tim Atkin MW: 94pt、Platter's Guide: 5 stars、Platter's Guide: 5 stars 【生産数】6,480本 【アルコール度数】13.0%</p>		
72832120	Ridge Pinot Noir リッジ・ピノ・ノワール	2020	¥8,300
	<p>【キュヴェ】「フレダ」と同じ土壌(頁岩)ですが標高が高く、より色調が濃く、酸やスパイシーさも増します。 【産地】Hemel-en-Aarde Ridge／ヘメル・アン・アード・リッジ 【畑立地】3つの冷涼な条件：渓谷に位置した南東向きの斜面、標高330m、海からの冷たい風の影響が揃う3エリアの中で最も涼しい畑。「フレダ」よりもブドウの生育が1カ月ほど遅く、じっくりと味わいを深めていきます。シャルドネとピノ・ノワールの畑は約100m離れていますが条件はほぼ同じです。 【土壌】4億年前のデボン紀のボックフェルド・シェール：大き目の石が多く粘土が豊富な頁岩 【植樹】2008年 【密植率】7,500本/ha 【収穫】3つの畑で最も遅い 【発酵】フレンチオーク小樽(228L)にて野生酵母による自然発酵 【熟成】《新樽》26%、《1年樽》23%、《2年樽》15%、《3年樽》36%にて11カ月間 【瓶詰】2021年2月 【樽製造社】フランソワ・フレール製 55%、メルキュレイ製 27%、シャサン製 18% 【テイステイングノート】2019年よりもポリフェノールがあり、ブラックベリーやダークチェリー、ハーブ、スパイス、グラファイト(黒鉛)などのアロマが濃厚で華やかに立ち上ります。深い色合いの果実味がリッチに感じられ、美しい酸とシルキーで香ばしいタンニンが特徴的で、スパイシーさを放つ官能的な余韻へといざなわれます。エキゾチックな一面を見せながらも、しっとりとした落ち着きと優雅さを与えてくれる極上のピノ・ノワールと言えるでしょう。 【評価】Tim Atkin MW: 95pt "Wine of the Year for Pinot Noir" 【生産数】5,880本 【アルコール度数】13.5%</p>		